

教育目標
「自己を見つめ
他を思いやる心



たしかめ坂

土岐市立肥田中学校
令和7年度 第2号
令和7年4月28日

第1期「基礎をつくる」

第1期「基礎をつくる」の仕上げに向けて

校長 土本 高夫

第1期「基礎をつくる」とは、学年に応じて求められることを達成するための基礎を学び身に付けるということです。家で例えるなら土台です。土台は見えませんが、頑丈でなければなりません。学年にふさわしい心構えと姿づくり、学習や活動の取組方、新学級での仲間づくりなどです。新年度が始まったばかりですから、うまくいくことばかりではありませんが、今はあきらめずに自分の課題を自分の力でどのように乗り越えるか、学級や全校の課題を仲間と力を合わせてどのように乗り越えるかを考え、実践し、改善を繰り返す時だと思っています。第1期の仕上げに向けて、今後さらに活動を充実させていきます。

学級組織、体育大会団リーダーと団色の決定、第1回委員会、朝の地域清掃やペットボトルキャップ・アルミ缶回収など、さまざまな活動が始まりました。一つ一つの活動は、ねらい（目的・目標）において関連しています。その1つが24日（木）に取り組んだ全校道徳です。生徒会役員の進行で以下の「肥田中人権宣言」を確認し、各学級でいじめについて学習したあと「学級の人権宣言」をつくりました。

本校の子どもたちが活動中はもちろん、何気ない時でも仲間に対してあたたかい関わりができるのは、お家が心安らぐ場所であり、毎年このような学習、取組を大切にしているからだと思います。このあたたかい環境と仲間関係が安心して学校生活を送ることができるための基礎の1つです。歴代の本校生徒が大切に続けてきた「肥田中人権宣言」は主語を家庭・地域に置き換えることで、学校の中だけではなく家庭・地域においても大切にされるべきものと思います。

今朝からMSJリーダーズによる挨拶運動が始まりました。「たしかめ坂」下に立っていると、多くの生徒が目合わせて挨拶できます。道路を横断した後、停車してくださった自動車のドライバーに向かって礼をして、感謝の気持ちを伝える生徒がたくさんいます。そんな姿を見ていると、とても幸せな気持ちになります。

肥田中学校人権宣言

前文 わたしたち誰もが笑顔で安心して学校生活を送ることができるために、肥田中学校生徒会として宣言します。

- 第1条 「あいさつ」と「笑顔」があふれる明るい肥田中学校をつくります。
- 第2条 友達の長所を見つけ、個性を尊重し、互いに高め合います。
- 第3条 善悪を正しく判断して行動します。
- 第4条 私たちは、相手の気持ちを考え、思いやりの心をもって接することによって相談しやすい雰囲気をつくります。
- 第5条 差別や悪口のない、ともに助け合える仲間を目指します。
- 第6条 「いじめ」は絶対にしません。認めません。見て見ぬふりをしません。

令和3年 前期生徒会

- あ 「ありがとう」は、よりよい人間関係をつくる魔法の言葉
- い 「いいね」は、よさを認め、学ぼうとする謙虚な言葉
- う 「うれしい」は、相手を幸せな気持ちにする癒しの言葉
- え “笑顔” 笑顔は言葉を輝かせる → 笑う門には福来る
- お 「おはよう」は、相手を大切に思う気持ちを伝えるはじめのことば



上は4月からの子どもたちの姿を見ていて思ったことです。言葉には人の心を動かすとても大きな力があります。どんな言葉を遣うとよいのか。大切な子どもたちのよりよい育ちのため、あたたかい言葉や気持ちがあふれる家庭・地域・学校でありたいと心から願っています。